

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

＜編集発行＞

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## 一般職員給与の引き上に賛成し、市長給与の引き上げに反対

第4定例会において行政が提案した条例案では、一般職員給与の引き上げに賛成し、市長給与の引き上げる条例案に反対した理由を記します。



インターン生が会議(傍聴)日程日に撮影

その一般職員給与の引き上げ内容は、主に職員初任給のアップを目的にするもので、民間企業において近年初任給の引き上げを続けており、来年度の新卒者の行政職員確保を図るために対応するものです。

他方で、市長給与の引き上げは期末手当(ボーナス)の率をアップする内容ですが、この間の財政状況を考慮すると、及び町田市議会議員はこの間報酬(ボーナスを含む)引き上げをした例は一切無いことから、市長自身の引き上げは認められないという立場から反対しました。条例議案の賛成者は25人、私が所属する「無所属」会派の全員3名を含め、反対は10人でした。この間、なんだか、この市長給与の引き上げが実施されてきましたが、徐々に、市長給与の引き上げに反対する議員が増加しており、次は逆転できないかと思っています。

## 「障害者雇用セミナー」に聴衆参加して

「障害者雇用セミナー」に聴衆参加しました。ハローワーク町田の雇用指導官の方は、法的な課題から助成金まで広範囲な話題をびっしりとして資料を基に説明されました。医療法人の方の話は、都心にある病院の本部事務局長を務める方で、産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格も有する方で、創始者が障害者雇用に取り組んできて、それが浸透しているとのことでした。東京都立町田の丘学園(特別支援学校)の進路指導部の方の話の中では、生徒さんのインターンシップの説明がありました。就業に際しては、指導部の先生が何度も相手先を訪問するなどの特徴を述べられました。

行政の取り組みは、町田市就労・生活支援センターに委託されているとのことでした。町田市就労・生活支援センターLe'sと言う1団体だけの紹介でした。他に、2団体があります。町田地域障がい者雇用企業連絡会の方では個別企業の方が登場されましたが、その取りまとめをされている方が、町田市内の障がい者雇用では最も早い時期から企業にあって取り組んでこられている方でした。この方の真摯な取り組みに感心しました。



有名なスワンベーカーリーのスワンカフェ&ベーカリーさがまち店を訪問した際の写真

◎町田市で、水耕栽培メロンの世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、  
春季の第51期生を募集開始

## インターン体験記④矢野 拓

吉田議員の職場である町田市庁舎の3階にある、町田市議会議事堂の無所属会派室を訪ねました。まず、吉田議員と同じ無所属会派所属議員でいらっしゃる新井氏、松岡氏と名刺交換をさせていただきました。次に、「一般質問発言通告書」のヒアリングの場に同席させていただきました。

一般質問通告は、議長経由で市長や教育委員会へ質問発言趣旨を提出するため、市役所の職員の方々(答弁者側)と内容確認を通じて、行政は完璧な答弁シナリオを作成するようです。

答弁者側が吉田議員へ話を始める際、「この質問をする意図や背景を聞く理由」から始まります。一般質問発言通告書には、題名しか載っていない内容が書いてないため、内容についての深堀などを説明するところからスタートだからです。この言葉のやり取りに隣で同席して驚いたことは、人とのコミュニケーションに試行錯誤する人は多いですが、意外にも普段会話をすることが多い大人同士でさえも、自分の言いたいことを伝えるのは難しいことでした。伝えたいことが相手には伝わりにくい場面も多く見られ、「伝える」ことの難しさに気づきました。



玉川大学4年生 矢野 拓(第51期研修生)

## インターン体験記⑤矢野 拓

今回は町田市原町田の「道の駅ぽっぽ町田」にある、「町田市観光コンベンション協会」に伺いました。



その説明では、今現在、消滅都市の懸念の一つに「町田市での人口減少」が挙げられ、その生産人口を上げるために若者の呼び込みが課題とされています。若い人の呼び込み対策として、例えば市外の若い女性をターゲットにしているそうです。その他は、「町田といえばこれ」というのがないことが一番の問題であり難しい点だと思いました。

協会の方々は、“来てもらう側”、つまり、受け入れ側の姿勢が大事だと強調されていました。「見てもらう」「買ってもらう」だけでなく「来てもらう」ことも活性化の一つです。この協会はそのお手伝いをしている立場に相当しているということでした。

## 2023年春季研修生募集中!

1998年にスタートした吉田つとむのインターンシップは、2022年秋から2023年春までの半年間を第51期生としています。参加時期は前後しても、ただ今申し込み受付中です。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年10月末までに104名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。